

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第37週 平成16年9月6日(月)～平成16年9月12日(日)

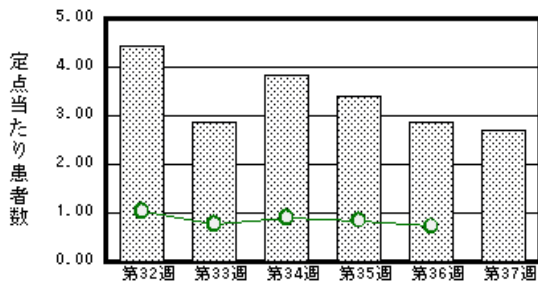
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

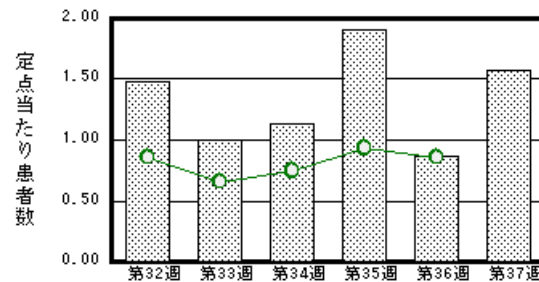
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (62名) 突発性発しん (36名) 水痘 (25名) 手足口病 (25名) 感染性胃腸炎 (22名)
- 【流行性耳下腺炎】前週に引き続き患者報告数が減少しました (6名 62名)
- 【腸管出血性大腸菌感染症】唐津保健所管内1名 (O26) 佐賀中部保健所管内1名 (O157) の届出がありました。全国と同様に県内でも発生が続いていますので手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう
- 【細菌性赤痢】佐賀中部保健所管内で1名の届出がありました。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ「感染症の話」をご覧ください。 http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_08/k02_08.html

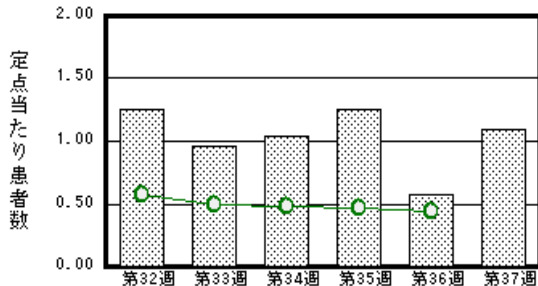
流行性耳下腺炎



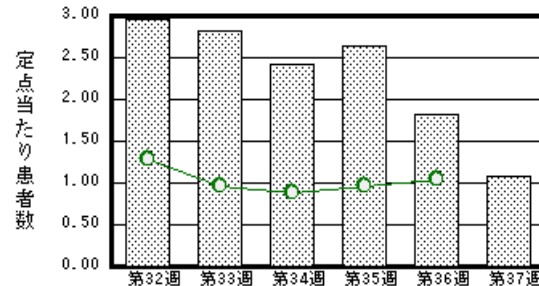
突発性発疹



水痘



手足口病



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第35週号 (8月23日～8月29日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第35週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週は増加した。過去5年間の同時と比較してかなり多くなっている / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第35週の現段階での報告数は216例であり 1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移している
・ 病原体情報	無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年 / 手足口病患者から検出されているウイルス2004年 / 咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス2004年
・ 速報	平成16年度 (2004/05シーズン) インフルエンザワクチン株の選定経過
・ 海外感染症情報	米国コロラド州でペストの発生 / 米国ニュージャージー州でリベリアからのラッサ熱輸入例 / フランスでのイヌの狂犬病 (モロッコからの輸入例) / チャド西部でのコレラ流行 / チャドでのE型肝炎 - 更新
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	細菌性赤痢 (二類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症 (O26) (三類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)
患者 (住所地)	1名 (50歳代女性) (佐賀市)	1名 (男児) (第36週届出関係者) (東松浦郡)	1名 (高校生女子) (佐賀市)
無症状病原体保有者	0名	0名	0名
感染原因・感染経路	不明	不明	調査中
平成16年届出累計	1名	13件32名 (今週1件2名)	
平成15年	同 期	0名	17件31名
	届出累計	1名	25件42名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第37週

平成16年9月6日 (月) ~ 平成16年9月12日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第36週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								4 0.00
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								33
	咽頭結膜熱	1 0.13			1 0.33		2 0.09	8 0.35	1017 0.34
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	5 0.63	3 1.00		1 0.33	1 0.20	10 0.43	14 0.61	1567 0.52
	感染性胃腸炎	6 0.75	5 1.67	1 0.25		10 2.00	22 0.96	21 0.91	7205 2.37
	水痘	6 0.75	2 0.67	6 1.50	5 1.67	6 1.20	25 1.09	13 0.57	1338 0.44
	手足口病	6 0.75	7 2.33	1 0.25	7 2.33	4 0.80	25 1.09	42 1.83	3179 1.05
	伝染性紅斑	5 0.63	1 0.33	11 2.75	1 0.33		18 0.78	7 0.30	577 0.19
	突発性発しん	13 1.63	9 3.00	7 1.75	4 1.33	3 0.60	36 1.57	20 0.87	2606 0.86
	百日咳								63 0.02
	風しん								21 0.01
	ヘルパンギーナ	2 0.25	3 1.00			1 0.33	2 0.40	8 0.35	1746 0.58
	麻しん (成人 麻しんを除く)								16 0.01
眼科 (4)	流行性耳下腺炎	11 1.38	5 1.67	27 6.75	12 4.00	7 1.40	62 2.70	66 2.87	2176 0.72
	急性出血性結膜炎								16 0.03
基幹 (6)	流行性角結膜炎					3 3.00	3 0.75	1 0.25	547 0.86
	細菌性髄膜炎								8 0.02
	無菌性髄膜炎							1 0.17	31 0.07
	マイコプラズマ肺炎							1 0.17	74 0.16
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								4 0.01
成人麻しん									

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は35週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 五類感染症)

平成16年第37週 平成16年9月6日(月)~平成16年9月12日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満					1			3						6ヶ月未満							
12ヶ月未満		12ヶ月未満				3	1			24			1		1	12ヶ月未満							
1歳		1歳			1	6	8	10		9			2		1	1歳							
2歳		2歳			1	4	7	5	2				3		11	2歳							
3歳		3歳		1		1	2	5	5						13	3歳							
4歳		4歳			1		2	2	2						11	4歳							
5歳		5歳		1	1	3	3	3	2				1		10	5歳							
6歳		6歳			3		1		4						7	6歳							
7歳		7歳			1	2			2				1		2	7歳							
8歳		8歳			2	2			1						1	8歳							
9歳		9歳				1									1	9歳							
10歳~14歳		10歳~14歳													3	10歳~14歳							
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳							
20歳~29歳		20歳以上													1	20歳~29歳							
30歳~39歳																30歳~39歳		2					
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳		1					
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計		合計		2	10	22	25	25	18	36			8		62	合計		3					
前期計		前期計		8	14	21	13	42	7	20			2		66	前期計		1		1	1		
当期間/前	***	当期間/前	***	0.25	0.71	1.05	1.92	0.6	2.57	1.8	***	***	4	***	0.94	当期間/前	***	3	***			***	***
増減数		増減数		-6	-4	1	12	-17	11	16			6		-4	増減数		2		-1	-1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

